



～お知らせ～

連日30度を超える猛暑になっています。
熱中症にはご注意ください。



能登半島地震が発生してから1年半が経ちました。当社が関わる新潟市の公費解体補助業務は、ほぼ先が見えてきましたが地震と豪雨で被災した能登地域においては、所有者不明の被災家屋の解体や災害公営住宅の建設などに苦慮されています。また、被害が大きかった奥能登地域の人口は約1割が減少し、高齢化率（65歳以上）も5割を上回っているとのこと。本格的な復旧・復興に影をおとしているようです。七尾市の和倉温泉は被災した旅館の解体が進み温泉街の再建に向け建設工事のつち音が響いているとのこと。他方、石川や富山に住んでいる方々にはテレビコマーシャル「♪こうしゅうえん・♪こうしゅうえん」でお馴染みの輪島市にあるホテル高州園が閉館すると新聞に載っていました。友人の結婚式で行ったこともあるので残念な思いです。

「頑張れ能登！」

7月8日（火）に令和7年度の測量士試験の合格者が発表されました。本社の真部さん、馬場さん、金沢支店の川島さんの3人が見事合格！
測量士の資格試験は、国家資格の中でも特に難易度が高いとされています。測量技術の進化に伴い最新の知識が常に求められ、現場経験に基づいた実践的な問題が出題されます。加えて、地理や数学などの学問分野の高度な知識も必要とされます。
難関突破おめでとうございます。



「職場における熱中症対策の強化について」6月1日に改正労働安全衛生法が施行されました。改正点は「熱中症による死亡災害の多発を踏まえた対策の強化について」で、対象となるのは「WBGT 28度以上又は気温31度以上の環境下で連続時間1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業。熱中症の重篤化を防止するため「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者には義務づけられました。

対象の一つとなる「WBGT」ってご存じですか。

WBGTは、Wet Bulb Globe Temperatureの略称で、日本語では「暑さ指数（湿球黒球温度）」と言います。

「暑さ指数（湿球黒球温度：WBGT）」は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。「暑さ指数（WBGT）」は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

具体には、次の3種類に測定値をもとに算出されます。

- 黒球温度（GT:Globe Temperature）は、黒色に塗装された薄い銅板の球（中は空洞、直径約15cm）の中心に温度計を入れて観測します。黒球の表面はほとんど反射しない塗料が塗られています。この黒球温度は、直射日光にさらされた状態での球の中の平衡温度を観測しており、弱風時に日なたにおける体感温度と良い相関があります。
- 湿球温度（NWB:Natural Wet Bulb temperature）は、水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて観測します。温度計の表面にある水分が蒸発した時の冷却熱と平衡した時の温度で、空気が乾いたときほど、気温（乾球温度）との差が大きくなり、皮膚の汗が蒸発する時に感じる涼しさ度合いを表すものです。
- 乾球温度（NDB:Natural Dry Bulb temperature）は、通常の温度計を用いて、そのまま気温を観測します。

暑さ指数（WBGT）の算出式

屋外での算出式

$$WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$$

屋内での算出式

$$WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.3 \times \text{黒球温度}$$

※WBGT、湿球温度、黒球温度、乾球温度の単位は、摂氏度（℃）

「暑さ指数」の使い方

暑さ指数（WBGT）は労働環境や運動環境の指針として有効であると認められ、ISO等で国際的に規格化されています。（公財）日本スポーツ協会では「熱中症予防運動指針」、日本生気象学会では「日常生活に関する指針」を下記のとおり公表しています。労働環境では世界的にはISO7243、国内ではJIS Z8504 「WBGT（湿球黒球温度）指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境」として規格化されています。

日常生活に関する指針

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28以上31未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25以上28未満)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
31℃以上 35℃未満	28以上 31未満	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28℃以上 31℃未満	25以上 28未満	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24℃以上 28℃未満	21以上 25未満	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など
（公財）日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2019）より

参考にしてください。さあ、みんなでこの猛暑を乗り切りましょう！

暑くなってきました。熱中病にご注意を！

「ウィークリースタンスの徹底を」お願いします

- ①昼休みや16時以降開始の打合せは行わない
- ②休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない
- ③休前日（金曜日）は新たな依頼をしない
- ④ノー残業デー（水曜日）は勤務時間外の依頼はしない
- ⑤ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング
- ⑥イブニング・ノーリクエスト（R5、6から）



〇必見！ [ホームページをご覧ください！](#) 新たな情報等があれば教えて下さい

www.hokurikuyouchi.co.jp

〇お願い！「クロジカ」（旧Aipo）を活用しましょう

